就実の“今”を伝える情報誌

就実通信

就実大学・就実短期大学

vol. 35

2019 | Spring



第53回 なでしこ祭

翔～今しかないこの時を～

研究室 REPORT ／活躍する卒業生／学生表彰
留学体験記／教員インタビュー／ Campus News ／公開講座







Wow!



10月27日(土)、28日(日)に開催しました、第53回なでしこ祭では、さまざまな場面でご支援を賜わり、誠にありがとうございました。

大学祭はもちろんのこと、就実大学・就実短期大学が、またその中の一人ひとりが高い場所を求めて成長していく、飛ぶように高みをめざしていこうとの思いを込め「翔～今しかないこの時を～」をテーマとしました。

晴天のもと開催することができ、多くの方々にご来場いただき、また大盛況のうちに終えることができました。



第53回 なでしこ祭

10.27 土 ・ 28 日

10:00－17:00

HAVE FUN!



［テーマ］ 翔 ～今しかないこの時を～

当日は 2 日とも晴れました！



















会長インタビュー

さいごに

今年のなでしこ祭では、トークショーは満席、模擬店や野外ステージは大盛況と、なでしこ祭を多くの方に楽しんでいただけたように思います。来年の課題も見えてきましたが、しっかりと改善策を考えて、後輩たちに後を託したいと思います。会長として、なでしこ祭に携われたことは、今後の人生の糧になると感じています。最後になりましたが、なでしこ祭に関わってくださった皆様、ありがとうございました。



学祭実行委員 会長
十川　明さん

次年度のことも考えた運営

今回のなでしこ祭で力を入れた事は、次回のなでしこ祭を視野に入れた運営方法の改善です。校舎建て替え工事のため、次回のなでしこ祭の会場配置などが大きく変わることが予測されています。そのため、模擬店会場の移設など運営方法の変更を、いくつか試行的に行いました。各パートとともに協力し合い、今後に向けた新しい運営方法を学友会全体で模索していきました。





ゴミの分別をわかりやすくイラストで紹介するなどパンフレットも使いやすく工夫しました！

トラブルも好転！？ブルゾンカラー秘話

学友会メンバーがなでしこ祭で着用しているブルゾンの１年生用を発注した翌日、業者さんから「一部の色の在庫がありません」という連絡がきました。これには、学友会の幹部全員が大慌てでした。パート毎に色分けをしているので、今年だけ違う色にするわけにはいきません。業者さんが在庫をかき集めてくださいましたが、欲しい色があと１着足りません。そこで閃いたのが、会長のブルゾンを１年生に渡して、会長用を別の色で注文することでした。こうして会長色が誕生したのです。





寺前 俊孝 講師
名城大学大学院経営学研究科博士後期課程修了
[担当科目]
マーケティング入門、マーケティング・コミュニケーション、新製品開発論







VOL.13
経営学部経営学科
寺前ゼミ

“なんでも発言できる安心感”が寺前ゼミのいいところ！

経営学部の1年生が在籍する「寺前ゼミ」では、新聞をはじめ、各種メディアで取り上げられたニュースや身の回りの出来事などを題材に、ディスカッションを行っています。

「どんな意見を言っても、だれも茶化したりしないんで、〝笑われるかな〟とか〝これは間違ってないかな〟とか、変に身構える必要がなくて、伸び伸びと意見を言い合えるところが、うちのゼミのいいところなんですよ」と話すゼミ生たち。

その空気感を作り出す要因として、寺前先生の人柄が大きく影響しているのだそう。「まず先生は、怒ることがないんですよ。大きい声すら出しません（笑）」「そう。すっごい優しいんです。この前、ピザパーティーを開いてもらったんですけど、先生自らピザを取りに行ってくれたんですよ。6人も学生がいるのに！『そんなの有り得ないよ』って、他のゼミの人たちから言われました（笑）」というゼミ生たちの言葉を受け、寺前先生は「あれ、感謝してくれてたんですね。Mサイズ6枚だったんですけど『次回はLサイズにしてくださいよ』って言われた記憶しかないような…（笑）。ピザじゃなくて、しゃぶしゃぶ食べ放題のほうが良かったとかも聞こえてたし（笑）。いや、でもホントいい子ばっかりなんですよ。この子たちは、私がこの大学に着任して初めて受け持つ学生ということもあって、思い入れも格別なんです」と、穏やかな笑顔を浮かべます。

2年生からは、希望する企業でのインターンシップを体験する寺前ゼミ生たち。初めての体験を控えた彼らに向け、寺前先生は次のようなアドバイスを贈っています。

「社会の中で、一番大事なのは、分からないことを分からないまま放置しないことです。どんな些細なことでも疑問に感じたことは口に出してきちんと確認をして欲しい。勝手な思い込みや判断から、取り返しのつかないような大きなミスを生むことがあるからです。この一年間のゼミ授業を通して、みなさんには臆せず意見を言う姿勢が身に付いているはずです。それを活かして初の社会経験を有意義なものにしてきて欲しいです」

女性2名、男性4名と、学部内でも珍しく男性比率の高い「寺前ゼミ」。屈託なく意見が出し合える環境と、和やかさが魅力です。





手嶋 大輔 教授
九州大学大学院修士課程修了

毎熊 隆誉 講師
九州大学大学院修士課程修了
[担当科目]
医療統計学、医薬品情報学、
薬剤疫学







VOL.14

薬学部 薬学科

手嶋・毎熊研究室

［医薬品情報解析学研究室］

医療現場からの声をテーマに共同研究。社会と学生が深くつながる学びの場。

この研究室が掲げているのは、医療現場からの要望をテーマにした薬学研究。内々でテーマを決めるのではなく、実習を通してつながりのある病院や薬局から上がってくる声を基に、現場で発生する医薬品の問題についての研究を行っています。ゼミには薬学科の4・5・6年生21名が所属。学生は分析班・細胞班・疫学班の3部門のいずれかに所属し、部門に基づいた各自のテーマに取り組みます。

「例えば、鎮痛剤や風邪薬に入っているアセトアミノフェンという成分の簡便な微量血中濃度測定や、睡眠薬（先発品）とジェネリック（後発品）の同等性など、皆さんにとって身近な医薬品や用法がテーマになることも。学外との連携を重視した共同研究であることが、この研究室の特徴です」と毎熊先生。

現場の声を学びに生かし、研究で得られた情報を現場に返す。双方にメリットがあり、開かれた大学としての役割も果たしていると手嶋先生は語ります。「学生が将来の進路に合わせた課題に取り組むことで、社会に出た時に大学の学びが生かせます。この研究室は社会と大学、学生をつなげる存在でもあるんです」

「研究室の雰囲気をひと言で表すと『ファミリー』。先生はもちろん、先輩の皆さんもとても優しいです。みんな仲が良くて、相談しやすい雰囲気がありますね」。そう話すのは5年生の松本君。3年間を通して一つの研究に取り組む中で、学年の枠を超えて協力し合うムードが生まれ、大学院生も含めた縦のつながりが出来上がっています。普段の研究活動のほかに、花見やクラス会、卒業生の送別会といったイベントも大切にしているそうです。「各学年それぞれに試験や実習などで忙しく、学生同士が関わり合う時間は意外と少ないんです。だからこそ定期的に全体で集まり、親睦を深める機会を持つようにしています」と毎熊先生。学生にとって研究室は自分の居場所の一つ。勉強も含めて、そこに集う仲間と過ごす時間も大学時代の貴重な経験になります。限られた時間を大切に過ごす、という意識がゼミの雰囲気の良さにつながり、先輩から後輩へと受け継がれているようです。

「今後は病院や薬局などの連携先をもっと広げて、より多くの現場の意見を拾い上げられる関係づくりを進めたい」と語る手嶋先生。研究活動の根底にあるものは、〝あくまでも患者のための医療〟に貢献したいという想い。学生みんながその想いを実感しながら、のびのびと学びの楽しさと意義を追求できる研究室です。

活躍する卒業生



株式会社ホテルグランヴィア岡山

中田　祐可 さん

人文科学部　実践英語学科2017年3月卒業

私は「ホテルグランヴィア岡山」で、ベルウーマンをしています。お客様に喜んでいただけるよう、笑顔の接客と心からのおもてなしを心掛け日々頑張っています。

元々、将来は英語を活かせる仕事に就きたいと考えていましたが、オーストラリアに4か月間留学して、英語は〝知識〟ではなく、コミュニケーションを図るための〝ツール〟なんだと痛感しました。このときの経験が基となり、外国からのお客様と会話する機会が豊富な、ホテル業界に魅力を感じるようになりました。

また、飲食店でのアルバイトを通じて、一社会人という立場で人と接する経験が持てたことも、今とても役に立っていると感じています。みなさんも、学生のときにしかできないことをたくさん体験し、限りある学生生活を有意義に過ごしてください。



ONE DAY SCHEDULE

8：30　出勤、引継ぎ
8：45　業務開始（接客、レストランの空席情報確認、観光地のイベント情報収集など）
12：00　昼食
13：00　業務
17：30　退社



株式会社リョービシステムサービス

植木美香子 さん

人文科学部　総合歴史学科2017年3月卒業

私は「株式会社リョービシステムサービス」営業部に勤務しています。企業への訪問のほかにも、リョービグループ全体で事業内容や成果を競う大会で、発表の機会を与えていただくなど、日々やりがいを感じながら仕事に励んでいます。

子どものころから、人前に立つことや人と話すことが好きだったのですが、大学の部活動で、特別支援学校の子どもたちと遊んだ経験が営業職を志す決め手になりました。表情や仕草から望みを汲み取り、一人ひとりに合った人や遊びをマッチングして、喜んでもらえたことが嬉しくて、相手のニーズに沿った提案をして喜んでもらうことは営業の仕事と通じるものがあると感じたからです。みなさんにもボランティアやアルバイトなど、色々なことに挑戦して自分の適性を見出してもらいたいです。



ONE DAY SCHEDULE

8：30　出勤
8：45　始業（メールチェック、デスクワーク、外回りなど）
12：00　昼食
12：45　業務（デスクワーク、外回り、資料作成など）
17：30　退社

平成30年度

学生表彰





学生活動優秀賞

書道部　**本多　彩**　表現文化学科 2年
第 46 回全国学生比叡山競書大会　伝教大師賞

学生活動奨励賞

矢尾　明子　表現文化学科 3年
第 23 回「前田純孝賞」学生短歌コンクール　神戸新聞社賞（入賞）

井上　菜月　表現文化学科 卒業生
第 23 回「前田純孝賞」学生短歌コンクール　新温泉町教育長賞（入賞）

大西　愛奈　表現文化学科 卒業生
第 23 回「前田純孝賞」学生短歌コンクール　新温泉町長賞（入賞）

田村　尚也　初等教育学科 4年
第 29 回中国地区けん玉道選手権大会　中国選手権の部　第1位
第 40 回全日本けん玉道選手権記念大会　準優勝
第 43 回全日本けん玉道もしかめ選手権大会　第 2 位

平松　夏奈　教育心理学科 3年
第 48 回中国四国学生選手権水泳競技大会　女子 100m 平泳ぎ　優勝
第 48 回中国四国学生選手権水泳競技大会　女子 200m 平泳ぎ　第2位
第 49 回中国四国学生選手権水泳競技大会　女子 100m 平泳ぎ　優勝
第 49 回中国四国学生選手権水泳競技大会　女子 200m 平泳ぎ　第2位

渡邊　理沙　教育心理学科 3年
第 1 回岡山県陸上競技記録会 兼
第 73 回国民体育大会岡山県代表選手選考会　女子円盤投　第 1 位
第 72 回中国四国学生陸上競技対抗選手権大会　女子円盤投　第 1 位
第 72 回中国四国学生陸上競技対抗選手権大会　女子砲丸投　第 2 位
第 73 回国体 岡山県代表選手（女子円盤投）
第 41 回中国四国学生陸上競技選手権大会　女子円盤投　第 1 位
第 41 回中国四国学生陸上競技選手権大会　女子砲丸投　第 1 位

田村　幸子　総合歴史学科 1年
第 73 回国民体育大会中国ブロック大会バスケットボール競技
成年女子の部　第2位

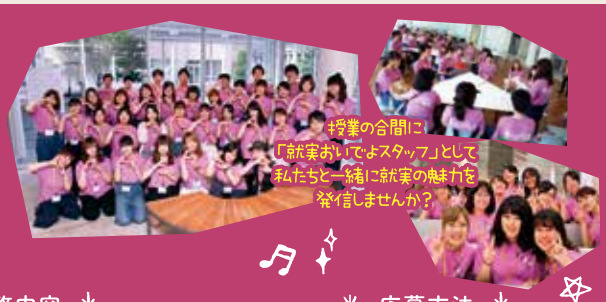
上森　宏樹　初等教育学科 4年
川上　敦史　〃
久保　和樹　〃
黒田慎太郎　〃
遠野　直人　〃
7 月豪雨災害による避難所での
運営協力　感謝状（岡山市中区長）



本学大学院・大学・短大の在学生なら誰でも応募資格あり!

就実おいでよスタッフ大募集

（学生広報スタッフ）



✳ 求める人材 ✳

①イベントの企画立案や運営に興味のある方
②広告物の作成や情報発信に興味のある方
③責任感があり、あかるく積極的な方
④高校生や学外の方に就実大学・就実短期大学をPRすることに興味のある方
⑤就実大学・就実短期大学や所属学部・学科が大好きな方

✳ 業務内容 ✳

①高校生向け学生イベント企画立案
②オープンキャンパスや大学見学等の運営補助
③本学LINE等SNSでのキャンパス紹介やイベント告知など就実の魅力発信
④広告物（冊子、CM、Web関係等）の作成・出演
⑤高校生とのフリートークやキャンパスツアーなどコミュニケーションPR
⑥オープンキャンパスに向けての研修会参加



✳ 応募方法 ✳

専用のエントリー用紙に記入
↓
T館1階の入試課へ提出
※用紙はT館入試課前で配付

お問い合わせ先
☎086-271-8118
入試課（T館1階）●平日9:00-17:00
✉nyushi@shujitsu.ac.jp



留学体験記

カナダ・
オーストラリア編

さあ、あなたも
留学にチャレンジ!!



木村 奈々子

実践英語学科２年
ビクトリア大学（カナダ）

自分の英語力を伸ばしたい、異文化に触れてみたいと思い留学しました。留学が決まってから普段の英語の授業に加え、日常英会話の本を読んだり、カナダについての本を読んで実践的な知識を身に付けていきました。

ビクトリア大学は世界中から留学生が来ていて、学生が多く明るく楽しい雰囲気です。現地の先生や学生も優しくて面白い人ばかりで、いつも気軽に話しかけてくれたので、私も積極的に質問してたくさん会話ができました。自分の言いたいことが相手にうまく伝わった時は本当に嬉しかったし、レストランやお店の人とスムーズに会話ができた時は充実感を得られました。

今、英語力を伸ばしたい、違う国の人と話してみたい、異文化に触れてみたいと考えている人にとって留学は最適な方法だと思います。考え方や物の捉え方など、たくさんの刺激を受けて成長するためのきっかけになると思います。ぜひ勇気をもって挑戦してみてください！


アクティビティで行った灯台


よく利用していたスクールバス



昌子 万里菜

実践英語学科３年
ビクトリア大学（カナダ）

実は、留学は費用や時期などの関係で親の承諾を得るのが難しいだろうと諦めていました。しかし将来エアライン系の就職を考えており、そのために留学経験がある方が有利なことを伝えると、両親ともに留学に賛成してくれました。

私は今まで自分から声をかける経験があまりなかったのですが、どうしても話をしてみたいと思った子がいたので思い切って声をかけ、友達になることができました。一期一会の出会いは、留学中の宝物です。留学先で知り合った人たちは目的意識がはっきりしていて、違う文化に触れることを楽しむ人が多いと感じました。

留学にはお金がかかりますが、それ以上に得るものはたくさんあります。文化の違いなど、留学でしか学べないことを学ぶという目的で留学することで、より有意義な時間が過ごせると思います。自分自身を成長させてくれる長期留学に行けるのは今しかないです。留学前と後の自分自身の変化にきっと驚きますよ！


州議事堂前にてクラスメイトたちと


British Columbia Parliament Buildings



小野 颯章

薬学科２年
ビクトリア大学（カナダ）

上級生になると留学が難しいと聞き、２年生の今しかできないと、留学を決心しました。薬学部は他学部と比べて英語に触れる機会が少ないものの、少しでも多くの人と英語でコミュニケーションを取りたいと思い、単語帳やスマートフォンの英会話アプリで勉強しました。実際に留学すると、留学先の先生やＣＡの方々など、みんな親切でいつも笑顔で応えてくれたので、安心して過ごせました。本当にいい学校だったと思います。

授業後は学校行事に参加したり、友達と出かけました。外国人の友達と一緒にご飯を食べたり、お土産を交換したり、異文化交流で盛り上がった時は嬉しかったです。大変だったのは、他のアジア圏の人とのコミュニケーションです。日本人の話す英語と少し異なるので、何度も言い換えて伝えなければいけないので苦労しました。

今留学を考えているみなさん、留学した先には、楽しくて仕方がない生活が待っています。きっと最高の留学になりますよ！


farewell party


友達と行った down town の夜景



高橋 侑子

初等教育学科３年
クイーンズランド大学
（オーストラリア）

高校１年生の時にオーストラリアに２週間留学した時、私の中の価値観が一変するのを感じました。それから、また留学したい、もっと多くの人と出会い自分の知らない世界に飛び込んでみたいと思い、再び留学することを決めました。

留学前には場面を想定して使えるフレーズなどを勉強しましたが、緊張などからはじめは全く英語が口から出てきませんでした。そのため、授業以外にもホストファミリーと話す、スーパーマーケットの店員に話しかける、月曜はＣｏｎｖｅｒｓａｔｉｏｎクラブに必ず参加するなどして、最大限英語を使う時間を作るよう努めました。

留学は楽しいです。自分が知っている世界が小さく、世界にはこんなにも多くの人がいるということに気づけます。自分の言語能力の向上につながるだけでなく、価値観や考え方にも大きく影響してくると思います。留学する方は、たくさんの人と関わりを持ち、多くのことに挑戦してみてください。きっと、一皮むけた自分になれますよ。


再会したホストファミリーと


オーストラリア Spring Bluff 駅



太田 歩佳

幼児教育学科１年
ビクトリア大学（カナダ）

高校時代にもカナダに留学するチャンスがあったものの、勇気が出ずチャンスを逃したことがありました。そこで、今度こそはと、思い切って留学することを決めました。留学前は「これは英語で何というのかな。」と少しでも疑問に感じたら調べたり、文法や単語の勉強をしていました。

実際に留学してみて一番嬉しかったのは、さまざまな国の人と友達になれたことです。私は韓国人の友達がたくさんできました。放課後にダウンタウンで一緒に遊んだり、ご飯を食べに行ったり、プライベートでも充実した時間が過ごせました。韓国人の友達とは今でも連絡をとっていて、近々韓国に会いに行く予定です。

留学する人は、自分が生活する上で必要なもの（特に薬など）は持って行った方がよいと思います。みそ汁やカップラーメン、レトルトご飯などもおすすめです。今留学しようか考えている人には、ぜひ一歩踏み出してほしいです。


アクティビティで行った
Fisherman's Wharf


スケジュールはぎっしり！

教員インタビュー

先生ってどんな人？



土田（とだ） 耕司 先生

短期大学 幼児教育学科 教授

[profile]
兵庫県出身。川崎医療福祉大学大学院修了。社会福祉を専門として、兵庫県立の発達障がい児・者の施設や総合リハビリテーションセンターでの勤務を経て大学教員に。2018年4月着任。
●担当講義
社会福祉、相談援助、子ども家庭福祉、社会的養護など

30年続けているゴルフと農作業が私の癒しの素です

私の研究テーマは社会福祉です。すべての人が、障害の有無や家庭環境、貧困などに左右されることなく、憲法で保障された〝健康で文化的な生活〟が保障される社会にするためにはどうすればよいのかについて取り組んでいます。そんな〝あたり前〟ともいえる生活ができない原因や問題点を探り、個人や家庭の問題として済ませるのではなく、地域や社会全体としてできる対応はなにか、具体的な解決策を模索していく実践的な研究です。

そんな私の楽しみがゴルフです。大学時代に始めて以来、かれこれ30年。体型はずいぶん変化しましたが、スコアは一切変化なし！最近は〝100を切ったらやめてもいい〟と思えるほどうまくなりたいのですが、ゴルフの神が「やめるな」と言っているのか、一向に上達の兆しはなく、まだまだ続けられそうです（笑）。

そして、もう一つの楽しみが畑仕事です。実家の畑を放っておけず始めたのですが、意外と楽しくて毎年色々なものに挑戦しています。今年ハマったのはニンニクでした。ニンニクの栽培は手間がかからずとても簡単なんです。房に分けて植えるだけでいいので、リズムに乗って植えていくうちに止まらなくなり…。結局800個も植えてしまいました。でも私、ニンニク嫌いなんです。収穫するのが恐怖です。とてもじゃないけど家族で食べ切れる量じゃないので、学校の前に〝ご自由にお取りください〟と書いて置いておきましょうかね（笑）。

実は、この趣味を活かして、授業で学生と一緒に枝豆の栽培をしました。収穫後、みんなで食べて、大豆製品を題材にした紙芝居も作り、「残った豆は節分に豆まきしよう！」と、約束して終わったんです。2月3日、誰一人来なかったですねぇ（涙）。これにめげず、いつか、きちんと豆まきして完結できる日まで、学生との枝豆作り続けていきますよ。

はっ！もしやこれも「続けろ」という神の啓示？長く続いてしまいそうな予感ありありですね（笑）。



第2回 後援会役員会

平成31年2月16日（土）、第2回後援会役員会が、29名の役員、28名の学内関係者の出席のもと開催されました。

開会にあたり、金島後援会会長と来賓の西井理事長から日頃の支援に対する謝辞が述べられました。次に片岡学長から、日頃の支援に対する謝辞が述べられ、別添資料を基に、高等教育の無償化について説明がなされました。

続いて、各学部長等から学部・短期大学の近況報告、キャリアセンター長から就職状況の説明、事務部長から平成30年度事業計画進捗状況についての報告がありました。最後に、事務局長から記念事業の積立金を建物の改築の総工費の一部に使用したいとの依頼がなされました。

議事終了後、退任される役員の方々の送別を兼ねて懇親会を開催し、役員・教職員の交流を深めました。

就実七夕まつり2018

7月の西日本豪雨に伴い毎年恒例の学友会主催「就実七夕まつり2018」を今年度は規模を縮小し、学内教職員・学生対象として、8月6日（月）に実施しました。わたあめ、かき氷、ポップコーン屋台、レモネードLIVE、ビンゴゲームにクイズといろいろなイベントをV館学生会館で行いました。年に一度の七夕まつりを多くの皆さんと楽しみ、伝統行事の大切さを思い、たくさん笑顔になれました。多くの学生・教職員の皆さんにご参加・ご協力いただきありがとうございました。





文学散歩 ◆表現文化学科

9月29日、表現文化学科では毎年恒例の「文学散歩」を行いました。今年は愛媛県今治市にある市立村上水軍博物館と大山祇神社に行きました。今回の目的は、和田竜氏の小説『村上海賊の娘』の舞台になった戦国時代の瀬戸内海と、そこで活躍した「海賊」村上家の歴史を学ぶことでした。博物館では『村上海賊の娘』が史料をうまく使って書かれていることなどが説明され、学生は真剣に耳を傾けていました。説明を受けた後、館内展示を見学させていただきました。海賊の実際の様子がよくわかる展示でした。



海賊の小早舟の復元（市立村上水軍博物館）

次に訪れた大山祇神社は、瀬戸内周辺の多くの武家が崇めた由緒ある神社で、海神・武神が祀られています。この地域には神社の宮司の娘、鶴姫の伝承が残っており、『村上海賊の娘』にも出てきます。神社内の宝物館には甲冑・刀剣などの国宝がたくさん展示されていました。

台風が懸念されましたが、学生たちは楽しく見学できたようで、充実した一日となりました。

園外に散歩に行ったよ♪ ◆こども園

10月中旬ごろより気候がよくなり、園外散歩にたくさん出掛けました。

0・1歳児は散歩車に乗ったり、保育者と手をつないで歩いたりして大学構内まで行き、落ち葉拾いや散策を楽しみました。大学のお兄さん、お姉さんに声をかけてもらったり、手を振ってもらったりして嬉しそうにする姿も見られ、とても微笑ましい光景でした。また、後楽園まで行き、ドングリ拾いも楽しみました！園外でも秋の自然にたくさん触れることができました。

2歳児は、大学構内や浜川原公園に行きました。散歩ロープを持ち、最後まで自分で歩いて行くことができました！公園までの道のりで、電車を見たり、消防車を見つけたりしてとっても嬉しそうな姿が見られました。



また、広い公園をたくさん走って遊んだり、綺麗な落ち葉を拾ったりして、秋の自然に親しみながら、のびのびと遊ぶことができました。構内で見かけられたら、声をかけてくださいね！

教員採用試験合格報告会について ◆教育心理学科

平成30年11月28日B館106教室に於いて平成30年教員採用試験体験報告会を行いました。本報告会は、教員採用試験を経験した4年生と後輩の教員採用試験の情報共有、交換の場として実施しています。会では、参加した4年生一人ひとりから体験談や勉強法、対策など思い思いに熱いメッセージが伝えられ、その後、自治体や職種毎に分かれてワールドカフェ形式で対話や意見交換が行われました。本会を通じて教採を終えた4年生も後輩も次のステップへ向けて多くの気づきが得られたのではないでしょうか。



[参加した3年生より]採用試験合格者報告会に参加し、来年度の合格に向けて多くのことを学ぶことができました。教員採用試験に向けての勉強法だけでなく、時間を上手く活用するための工夫や息抜きなど、実際に経験してきた先輩だからこそ分かる情報ばかりでした。堂々と話されている先輩方を見て、来年自分もこうなりたいという目標を持つこともできました。この採用試験合格者報告会で学んだことを生かして、私も頑張ります。

初等教育学会講演会を開催しました ◆初等教育学科

12月15日（土）に、初等教育学会主催の地域貢献事業「公開学術講演会」を開催しました。本年度は、清泉女学院短期大学幼児教育学科准教授の塚原成幸氏を講師にお招きしました。塚原氏は、25年以上道化師として、学校や病院で子どもを励ましながら、大学でも保育者の養成に取り組まれている先生で、今回の講演会では「笑顔が紡ぎ出す人と人とのつながりについて」お話しいただきました。受講した学生の多くは、道化師姿で熱く語られた塚原先生のお姿から、「笑顔の大切さ」に共感し、自分自身の「人との接し方」について深く考える時間となりました。受講された地域の方からも、「人は楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいんだと言われたことが心に残りました。残りの人生、笑って過ごしたいと思いました。」などご感想をいただきました。



生活科学講演会 ◆生活実践科学科

「社会人に役立つ感情コントロール法 アンガーマネジメント ～仕事も人生も成功させるために～」

12月26日（水）に生活科学講演会が、本学S館101教室で、開催されました。

講師の川上陽子先生（Y'オフィス代表）は、私たちが持つ「喜怒哀楽」の感情の中でも特に、「怒り」について話され、怒りをコントロールすることで、後悔しない生き方や、

社会人として豊かな人間関係を築く方法についてわかりやすく教えていただきました。川上先生は、会場に呼びかけ、周囲と回答をシェアしあうワークを交えて講演され、学生にとっても有意義かつ楽しい学びの機会となりました。



2018CVG中国（キャンパスベンチャーグランプリ―中国）において経営学部3回生が奨励賞を受賞 ◆経営学科

CVGは文部科学省や経済産業省が後援している全国組織のビジネスコンテストで、学生関連では日本最大規模です。そのCVG中国で本学から3回生の牧君、井上君、三井君、丸山君が9名の審査員のもと奨励賞を受賞しました。

テーマは〝災害復興支援サービスAgora〟。不幸にして発生した「平成30年7月豪雨」でいろいろな悩み事を持つ被災者と、その悩み事を解決したい支援者が適切にマッチングできていない場面が多くみられたため、「被災者のリクエストは日々変化しており、これをどうマッチングシステムの中に組み込めるか、それを支援している関係者にどう可視化したらいいか」を課題設定し、解決策を提示しました。

受賞者は、「迅速な災害復興は社会課題である。CVGを通して、多くの改善点が発見された。ビジコンを通して、より実現可能なアイデアを提案する」など、意気込みを見せてくれました。



なお、CVG中国は平成14年度以来17回目で、今年は中国地域の15の大学・高等専門学校等から85件の応募があり、そのうち10件が入賞を果たしました。

平成30年度教育・就職懇談会

平成30年9月15日（土）、教育・就職懇談会が、270名の出席のもと開催されました。まず初めに金島後援会会長より、挨拶と謝辞が述べられました。次に片岡学長から挨拶と日頃の支援に対する謝辞が述べられ、未来社会を生きるために大学で学ぶべきことについて詳細な資料をもとに講演が行われました。続いて吉本キャリアセンター長より、本学の就職状況とキャリアセンターの取り組みについて説明がなされました。また、株式会社ディスコ広島支社長杣川氏より、保護者の方に知ってほしい就活事情や保護者ができるサポートについて講演が行われました。午後からは、各学科に分かれ、学科別近況報告及び個人面談が行われました。また、キャリアセンター職員や学生課職員による就職相談及び学生生活相談、保護者の方々のご希望に応じて学内施設見学等も行われました。

保護者の方々にご記入いただいたアンケートでは、現在の就活事情について知ることができ、来年もぜひ参加したいとの感想が多く寄せられ、充実した教育・就職懇談会となりました。



公開講座2019 前期 豊かな人生に向かう楽しい学び

テーマ 担当／幼児教育学科

申込受付開始日［前期講座］5月7日（火）～

6月1日（土） 講師／荊木 まき子
ストレスとのおつきあい

人が生きていく上でストレスは、何らかのかたちで関わってきます。本講座ではそんなストレスとのつきあい方を、簡単な心理テストやエクササイズを使って、学びたいと思います。

6月8日（土） 教授／小谷 彰吾
『幸せに出会う先人の言葉』～心豊かに生きるための『論語』他～

大切なことが見えにくく、不安定な個が生じやすい時代の中で、『論語』を中心とした先人の言葉に触れることで、明るく楽しく心豊かに生きていくことを楽しむ。

6月15日（土） 准教授／松本 希
『赤ちゃんといっしょ』―ベビーヨガ教室―

赤ちゃんの発育発達に必要な動きをサポートする体操を行います。わらべ歌や童謡を歌ったり聞いたりしながら、赤ちゃんとの時間を楽しむ教室です。定員10組
対　象／首が据わって歩くまでの赤ちゃんと保護者（お父さんお母さん、祖父母など）
持参物／バスタオル、水分補給用の飲み物
場　所／体育館内多目的ホール

6月22日（土） 教授／土田 耕司
『東京2020 パラリンピック大会を楽しもう』―障がい者スポーツの意義と変遷―

障がいのあるトップアスリートのスポーツの祭典パラリンピック大会が、2020年開催されます。そこで、障がい者スポーツの変遷と豆知識を学び、東京2020パラリンピック大会を楽しみましょう。

6月29日（土） 准教授／鎌田 雅史
影響力の心理学

「こうしたら健康にいいよ」同じメッセージを伝えられても、不摂生をしている人に立ち話で言われるのと、健康診断時にお医者さんに言われるのでは重みが違います。どうしてでしょう？影響力の大きさは何によって決まるのか、社会心理学の視点から考えてみましょう。

7月6日（土） 教授／小谷 彰吾
『先人の言葉に学ぶよりよい生き方』②～『老子』他～

大切なことが見えにくく、心が不安定になりやすい時代の中で、先人の言葉をもとに明るく楽しく心豊かに生きていくことを学びましょう。

公開講座 基本情報
［時間］10：00～11：30
［会場］本学S館101教室 ※一部講座を除く
［受講料］無料
［定員］100名 ※一部講座を除く

お問合せ・お申込先
郵送、FAX、E-mailにてお申し込みください。
（就実大学・就実短期大学 総務課 公開講座担当宛）
TEL.086-271-8290　FAX.086-271-8310
E-mail:soumu@shujitsu.ac.jp

就実通信 vol.35 2019年3月15日発行
就実大学大学院・就実大学・就実短期大学
〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1　TEL.086-271-8111（代）